OCISAの皆さま

お疲れ様です。医学科4年の山下です。

新春から豪華！中山先生のパワーで大いに盛り上がりました、2013年1月の議事録をお送りします。ちょっと文字が多めですが、ぜひお目通しを。

＜1月定例会＞

日時：2013年1月8日（火）

場所：管理棟8階　第1０カンファレンスルーム

内容：思春期医療

特別講師：**中山明子先生**（大阪家庭医療センター・西淀病院　家庭医）

＜参加者＞

・先生方：片岡先生、佐藤先生、安田先生、吉田先生、松坂先生、猪田先生、

　　　　　黒田先生

・SPさん：前田さん、坂田さん、廣田さん、藤木さん

・学生：光田（医6）、小林（医6）、今村（医５）、戸川（医5）、山下（医4）、

　　　　佐野（医2）、難波（医2）、川地（吉備４）

 ＜スケジュール＞

プレ(19時～19時30分）：思春期医療って？

思春期にまつわるいろいろな問題についてディスカッションします。

１部：19時30分～21時　不登校の親子とのコミュニケーション

・医療面接：母子で受診してきた14歳の中学生（主訴：失神）＜15分＞

　医師役　光田さん

　患者役　坂田さん（母親）、今村さん（娘）

2部：懇親会

今回はオシアの生みの親、中山先生をお呼びしての定例会でした。

難しい内容でしたが、光田さんの素晴らしい面接と、中山先生のこれまた素晴らしいファシリテートで、いろんな意見が引き出されたように感じます。

個人的には、普段の医療面接とは違うノウミソを使ってとてもいい刺激をもらえたことに満足しています。第二弾もぜひ。

～次回予告～

日時：2012年2月12日（火）

場所：管理棟8階　第1０カンファレンスルーム

内容：未定

司会：山下　　書記：難波　　お菓子：佐野

以下、今回のテーマに付いて出た意見の箇条書きです。

どんな内容だったのか想像しながら読んでください。

**＜Q10代の頃、自分の周り友人の問題＞**

・2つ下の弟が不登校　小6〜中3　父と弟の喧嘩

・自分っていったいなにか、違和感、アイデンティティの模索

・中学校の頃に不登校、起立性調節障害？保健室通いから復帰

・姉の子供が不登校

・生理痛で授業に出られない友達がいた

・生理で体育に出たくない

・産婦人科は男の先生なので行きたくないという思い

・部活で小さな怪我や膝の痛みを理由で部活に来ない友達も

・がんばりすぎると過呼吸を繰り返した、病院で血液検査や心電図をした、心

　臓肥大？その後は甲状腺？反復

・荒れている中学校、暴力事件やシンナー？女子は性行動が問題に

　かっこつけて喫煙も、性行為は寂しさもあり、飲酒も

　そのときに相談できるような人がいなかった

・体育館裏での情事

・岡山で初めてヤンキーを見た

・ネットが普及した世代、中学校からネット　学校の裏サイト

・父親の仕事で小学校を変わった、6年生の1年間だけ別の小学校

　友達との関係を長く続けられなかった、中学生までは大変

　まだ体罰もあった時代

・団塊の世代はクラスに40人以上、500人卒業200人岡山大学を受ける

　勉強する人はする、しない人はしない、好き放題

　栄養がらみのことが多かった

・身長が伸びない子

・先生をいじめる　悪い生徒が集まって、担任の女の先生を

**＜医療面接＞**

設定：14歳　中学生　ハヤシダマオ

　　　ワイワイクリニックを初めて受診、失神（一過性意識消失）

○RPを振り返って

・確認しつつ進めて行くことで広がった、核心部分としてマオさんが話したい

　ことが話せていないような

・席を外すように促したのはうまかった

・二人を話すために直接言った方がと言ってもいいのか

・本人も構えるかと思い　診察をしながら話に持って行きたかった

・自分が思春期の子供だったら身構える、後で親に何か聞かれても困る気持ち

・母親がしゃべってしまうというのはよくある

　自分なら二人で話せたらという気持ちも

・夜が遅くなっているのが原因か、両親の仲はどうなのか？二人になると聞い

　てみたい、携帯を買った時期と体調が悪くなった時期の関係は

☆二人でいるときとマオさんが一人のときに切り分けての質問は？

○二人でいるとき

・食事の実際の状況、調子が変動する周期、初潮はいつ？

　赤飯を食べる、洗濯するのは母、生理に気づくのも開始を覚えているのも母

・生育歴、これまでの既往など

・母の低血圧はいつ頃の話？母からの押しつけも

・母子手帳を見せてもらう　ワクチン接種を見ることでわかることも

　書き込み具合なんかも

・発達障害を疑うようなエピソード　学校生活でのつまづき

　通知表の欄、学校の成績、性格（場面での違い、それとのズレ）

○マオさんが一人のとき

・先輩からの言葉の位置付けの違い、母親の言葉に本人はいじめではないと

・本人からみた家族関係

　父親が嫌いな理由は？受験のことや

・母の話にある、自慢の娘、これが負担になっていないか

　狭い世界、家や塾やネットはあるが、他に発散しにくい

・家で一人のときは何をして過ごしているのか

・何をしているときに楽しいのか、好きな人はいるか、将来の夢は

　趣味や打ち込めるものがあるか、自立するのにも夢が必要

・友達関係は、親しい人の数、親友はいるのか

・娘の気持ちとして母親を認めてほしいという気持ちがあり、それがわかれば

　二人きりになっても話やすいのでは

・問題が大きい、感情が強い場合はまずはそれを受け止めてから

・子供をリラックスさせるためには親もリラックスさせることが必要

・認知症の親を連れてくる家族、家族を安心させないといけない

・来たくて来たのかどうか知りたい　母に聞いた動機だけでなく

　本人が医療に助けをもとめているのかどうか

　他によりどころがあるのか

　こちらから無理に聞き出すのも問題だったりもする

　➡本人のニーズは大事！！

・かかりやすさ　誰かの紹介で来てもらうような設定、思春期外来の看板など

　思春期保健相談士という後ろ盾のようなもの

　しかし、あまり大きな声で言うと集中するリスク

**＜マオちゃんからのフィードバック＞**

やる気を出して行ってみたものの、学校で陰口が聞こえたり

病院では緊張

母親が興奮しているので気が済むまで様子をみていた

医師役と目が合ったときの笑顔でも安心

母と先生のやりとりから自分が病気なのかなという気持ちに

だるさがなおるならどうにかしてほしいという気持ちに

二人でじっくり話をしようと言われるよりは、診察のタイミングでよかった

母親は夫から育て方のことを言われたり

友達からも病気かどうか言われて不安に

以上。

余談ですが、SP坂田さんの母親役もさることながら、マサエさんのマオちゃん役は本物の今の中学生女子っぷりを発揮しておりました。すごいなぁ。

ではまた次回！

文責

医学科4年　山下大輔